

平成28年度ホタテガイ採苗通報(第8報:最終)

平成28年6月1日



宮城県

気仙沼水産試験場 TEL:0226-41-0652 FAX:0226-41-0743
 E-mail:kssuisi@pref.miyagi.jp
 HP:http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenmuma-s/
 Facebook:https://www.facebook.com/kesuishi
 気仙沼地方振興事務所水産漁港部 TEL:0226-22-6852
 水産技術総合センター TEL:0225-24-0138
 県漁協各支部青年部・研究会

県北中部全域でホタテ稚貝の付着は先週に続き順調です

- ・ なお、ホタテ浮遊幼生の出現は継続していますが、北部地区ではそろそろピークを過ぎると思われるので、採苗袋の投入を完了してください。
- ・ 今後、付着稚貝数の多い地区では稚貝の成長に伴い、過密による貝の変形等が発生する恐れがありますので、付着状況を早めに確認し、適切に分散作業等を行ってください。

《調査結果の概要》 調査日:5月30~31日

○北部海域(唐桑~歌津)

- ・ 調査点の表層水温は14.5~16.5℃、10m水温は11.4~13.0℃で、先週より表層で約1℃上昇しましたが、10m層はほとんど変化していません。
- ・ ホタテガイ浮遊幼生数(10m曳)は、只越(唐桑)で中小型(250ミクロン未満)11個(前回24個)、大型(250ミクロン以上)9個(前回11個)、気仙沼湾口部の岩井崎で中小型26個(前回11個)、大型7個(前回12個)、大島の大前見で中小型12個(前回8個)、大型2個(前回6個)、唐島で中小型31個(前回0個)、大型5個(前回0個)、蔵内(本吉)で中小型14個(前回113個)、大型6個(前回30個)、泊浜(歌津)で中小型3個、大型4個となっており、若干の増減はありますが、中小型・大型ともホタテ幼生の出現は継続しています。
- ・ また、試験採苗器(概ね一週間設置)には、只越10m層で534個(前回1,371個)、只越20m層で1,184個(前回1,443個)、岩井崎で786個(前回1,695個)、蔵内で3,088個(前回4,536個)、泊浜で5,072個(二週間設置)となっており、ホタテ稚貝の付着は先週に続き順調です。
- ・ なお、ムラサキガイ等の稚貝の幼生が増加しています。

○中部海域(北上~女川)

- ・ 調査点の表層水温は14.0~15.0℃となっており、ホタテガイ浮遊幼生数は十三浜(北上)で中小型32個(前回2個)、大型36個(前回45個)、出島(女川)で中小型5個、大型5個、また試験採苗器(概ね二週間設置)には、十三浜で4,500個、出島で2,032個、寺間で4,596個となっており、ホタテ稚貝の付着は順調です。

表 浮遊幼生調査結果

調査点 調査月日	水温(℃) 表層/10m	採取方法 (プランク トネット)	ホタテガイ浮遊幼生数 個体/m ³		その他(ムラサキガイ等) 幼生数 個体/m ³	ホタテガイ付着稚貝数 個体/袋 (投入日-回収日)
			250ミクロン未満 (小型~中型)	250ミクロン以上 (大型)		
北部海域(唐桑~歌津)						
只越(唐桑) 5/30	16.5/11.4	10m曳	11	9	187	534 (5/23-5/30)
		20m曳	7	6	259	1,184 (5/23-5/30)
岩井崎 5/30	16.5/12.3	10m曳	26	7	129	786 (5/23-5/30)
大前見(大島) 5/30	14.5/12.4	10m曳	12	2	75	
唐島(大島) 5/30	15.6/12.3	10m曳	31	5	415	
蔵内(本吉) 5/31	16.3/13.0	10m曳	14	6	230	3,088 (5/24-5/31)
泊浜(歌津) 5/31	15.0/12.9	10m曳	3	4	61	5,072 (5/18-5/31)
中部海域(北上~女川)						
十三浜(北上) 5/30	15.0/-	10m曳	32	36	96	4,500 (5/16-5/30)
出島(女川) 5/31	14.0/-	10m曳	5	5	32	2,032 (5/16-5/31)
寺間(女川) 5/31	-/-	-	-	-	-	4,596 (5/19-5/31)

- ・ 今回を持ちまして定期的な通報の発行は終了します。ご協力ありがとうございました。
- ・ 6月下旬~7月上旬を目処に各地区の付着状況調査を行いますので、ご協力をお願いします。